



(平成27年6月18日撮影)

上段左から
細谷優子
永田ひとみ
後藤まどか

下段左から
坂和宏展弁護士
坂和章平弁護士
岩崎澤



札幌と苫小牧への出張が続く中、さっぽろ雪まつりでのお茶目な写真はいかが？『シネマルーム35』の表紙は、クソ暑い日本の8月に一陣の涼風を！

暑中お見舞い申し上げます。

1) 戦後70年の節目となる2015年の夏は暑くなりそう。とりわけ、8.15は「日本のいちばん長い日」になりそうだ。

2) 「一強多弱」体制の下で、昨年7月「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定に踏み切った安倍晋三内閣は、今年5月に閣議決定した「安全保障関連法案」を国会に提出した。6月4日に国会参考人となった3人の憲法学者が「違憲」と指摘したことを受けて、野党はもちろんマスコミによる憲法違反＝法案撤回の大合唱が広がる中、安倍総理は会期を大幅延長しても今国会中での成立を期している。復興法、首都直下法、南海トラフ法等の災害法制、復興法制でもやたら複雑な概念・定義が増えているが、安保法制でも従来からあった周辺事態法にもとづく「周辺事態」の他、「武力攻撃事態」(日本への武力攻撃が発生または発生する危険性が高まった状態)、「存立危機事態」(他国に対する武力攻撃によって日本の存立を脅かす事態)、「重要影響事態」(日本の平和と安全に重要な影響を与える事態)等の複雑・難解な△△文字熟語が続出しているから、まずその学習と理解が不可欠。しかし、氾濫するマスコミ報道の中、あなたの理解度は？

3) 大阪府・市の未来に大きく影響する一大政治決戦となった大阪都構想の賛否を問う「5.17住民投票」は、投票率66.83%、賛成69万4844人(49.4%)、反対70万5585人(50.2%)、約1万票の僅差で否決された。弁護士出身の橋下徹氏の強烈なキャラクターに賛否両論あるのは当然だが、決戦終了後の争点は、次の2つ。第1は住民投票は、①大都市地域における特別区の設置に関する法律(大都市法)にもとづき大阪府を現行の24の区から5つの特別区に再編成、②政令指定都市たる大阪府をなくし、その権限を府と特別区に再配分することによって、府と市の二重行政の弊害を解消するという「提案」が否決されただけで、いわば元の木阿弥に戻っただけ。したがって、今後は橋下市長が目指した「あるべき改革」が新市長や自公民共の議員たちの下で進むのか否か。第2は敗北直後に「政治からの引退」を笑顔で宣言した橋下氏の、国政進出を含む政治復帰があるのか否かだ。

かつて中国では、大陸から日本軍を追っ払うについて、国民党と共産党が「国共合作」を成し遂げたが、日本敗戦後は1949年まで血で血を洗う「国共内戦」が続いた。しかし、自公共闘のみならず自共共闘まで見せた大阪では、今年11月の知事と市長のダブル選挙が当面の焦点だ。4月に北区から都島区に引越した時は、住民投票の結果また北区に戻ると確信していただけに、今後は都島区の住民としての自覚を持つ必要があるが、さてそんな感覚をどう整理すれば・・・。

4) 胡錦濤の後を継いで13年3月に国家主席に就任した習近平は、「法治」と「反腐敗」を旗印に、着々と権力基盤を固めてきた。重慶市の書記だった薄熙来に続いて、今年5月には政治局常務委員だった周永康が無期懲役の判決を受けた。「海洋大国」を目指した東シナ海、南シナ海への進出ぶり(?)を見ても、今や共産党・国家・人民解放軍の三権を完全に掌握した感のある習近平の、次なるターゲットは胡錦濤の側近だった令計画？それとも・・・？そして、抗日戦争勝利記念日たる9月3日に開催される「世界反ファシズム戦争勝利・抗日戦争勝利70周年」の軍事パレードの規模と影響力は？

村山談話(戦後50年)、小泉談話(戦後60年)のポイントは、①植民地支配と②侵略、そして③痛切な反省と④心からのお詫びだったが、さて今年の8.15に予定されている安倍談話(戦後70年)の内容は？その両者を対比しながら、日中のあり方をしっかり考えたい。

5) 4月の都島物件への転居と帝国ホテル・フィットネスクラブへの入会に伴って、運動量は激増、自宅での飲酒量は激減と、ライフサイクルは大転換！団塊世代がジジイになってなお威張ることは是非論は当然だが、バブル時代とは正反対のこんな真面目な生活が続けば、元気が続くことまちがいない！そんな確信をもって今年の夏を乗り切る覚悟です。皆様のご健勝を願っています。

2015(平成27)年6月23日記

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

1 弁護士業務

1) 近時は再開発関係の訴訟や相談が多い。

①三田駅前再開発をめぐる訴訟は、13年10月の提訴から1年半の審理を経て、今年3月の和解成立によって終結。

②京阪寝屋川市駅の再開発に伴う道路事業によって敷地の40%を収用されたN氏を依頼者とする大阪府収用委員会の土地収用・明渡収用裁決事件は、14年12月に想定どおりの成果をあげて終了。

③徳島市の新町西地区市街地再開発をめぐる公金違法支出差止等請求事件は、14年7月の提訴以来6回の口頭弁論を経て、今年8月に終結予定。

④高石市の羽衣駅前地区市街地再開発は権利変換計画の策定に向けて作業中。

⑤大阪の裁判所のすぐ南側にある若松浜公園の占用許可をめぐる調停事件は、今年2月の調停申立を受けて、今年7月に第2回期日が開かれ、争点を整理中。

⑥今年6月には、新たに岐阜県東地区市街地再開発の相談を受け、とりあえずコンサル会社の顧問弁護士に就任。都市再開発法にもとづく権利変換計画の作成に向けた作業を今後進めることになる。

2) 今は苦小牧に住んでいる旧友の関係で、札幌での遺産分割調停事件の処理を終えた後、章平は某関連会社の監査役に、宏展は顧問弁護士に就任して活動が続けている。そんな中、苦小牧家庭裁判所で離婚調停事件が勃発！離婚原因の有無自体を私の依頼者である夫側は争っているうえ、子供の親権者・監護権者を父母のどちらにするかも真正面から争う大事件だから、2月、4月、7月と期日を重ねているが、長期化は必至だ。大雪で飛行機が欠航したため、1月の第1回期日が延期されたことを考えると、冬場に向けては日程調整が大変だが、しばらくは北海道行きが続きそうだ。それに伴って夏場はゴルフも・・・。

2 中国関連

1) 神戸国際大学の毛丹青教授の活動がここ数年大きく広がる中、雑誌『知日』関連、『恵恵（フィーフィー）日中の海を越えた愛』の映画化関連などのコラボは確実に進展中。近時は、彼の教え子の第1期生たる孫晨俊、李淵博くんたちとのコラボも増えている。そんな中、8月中旬の上海での新企画の展開は？

2) 小学6年生まで日本で育ち、北京電影学院を卒業後早稲田大学に入学し、博士論文『中国古代思想のポストモダンの視覚表現』で今年3月早稲田大学メディア芸術学博士となった劉茜懿さんは、私が08年10月に北京電影学院で「坂和的中国電影論」と題する特別講義を行った時の聴講生。また、彼女の父親・劉旭光さんをはじめとする先生方が、私の事務所と自宅を訪れたのは14年7月。そこで突然決定したのが、北京電影学院聯合作業卒業制作プロジェクトに私が出資し、首席スポンサーになることだった。いかにコトが進むのか全くわからないまま興味深く見守っていたところ、今年6月突如、北京電影学院「実験映画」学院賞の詳細が決定した。

3) これは北京電影学院版アカデミー賞とも言うべきもので、院生たちの応募作から選ばれたベストワンをはじめとする各賞に一定の荣誉と賞金が与えられる。私はその審査委員長として授与式に参加し、各賞を授

与すべき立場になるから、学院で開催される授与式への参加は不可欠だ。そこで急遽決まった北京行きの日程が、東京でのオービックの株主総会と苦小牧での調停期日の合い間となる6月28日～30日の3日間。日程的にはハードだが、今回はそれもやむなし。次号では、その報告をお楽しみに。

3 出版関係～『大災害対策・復興をめぐる法と政策』（仮称）（民事法研究会）の出版が間近に！

1) 皆さんは、国土強靱化基本法、首都直下地震対策特別措置法、南海トラフ地震特別措置法が制定されたことを知ってる？また、災害対策基本法が4回にわたって改正された他、大規模災害復興法が制定されたことを知ってる？

2) 2011年の3.11東日本大震災後、災害法制と復興法制を整備する必要性が痛感される中、和歌山選出の衆議院議員で安倍政権下で自民党の総務会長を務めている二階俊博氏主導の下「国土強靱化関連三法」の立法化が進んだが、その解説書は少ない。それは、現在国会で審議されている「安保法制」と同じように、あまりにも複雑・難解だからだ。1967～9年に「近代都市法」として確立した日本の都市計画法も複雑・難解だったが、それから約50年後の今、その複雑性・難解性は手に負えないところまできている。

3) すると、国民はそれをわからなくてもいいの？いや、そうではない。昨年8月の広島土砂災害、9月の御嶽山噴火、そして今年5月の口永良部島噴火、小笠原諸島西方沖地震等々の大災害が続く昨今、首都直下地震や南海トラフ地震に備えるための法律の理解とそれにもとづく各種計画づくりは不可欠。また、そこへの国民参加も不可欠だ。

4) そんな問題意識で昨年末から緊急に執筆を開始した解説書（体系書）の出版がいよいよ間近になった。その下敷きになったのは、事務所だより第23号の章平コラムで紹介した新日本法規出版の『Q&A災害をめぐる法律と税務』の追録の執筆。学者が執筆する解説書が少ない中、1人の弁護士がこれだけの災害法制と復興法制を体系的に網羅した解説書を出版するのは特筆すべきことだと自負している。乞うご期待！

4 事務所体制

1) 私が1人で事務員を10人近く動かしていた時代とは異なり、宏展弁護士は何でも自分でパソコンを使って書面をつくるから、事務員の仕事は①事件の補助的業務と②秘書的業務に限定される。他方、坂和事務所ではそれとは別に、③私の映画評論のパソコン打ち、④都計法関連出版の資料集め、下原稿のパソコン打ち、ゲラチェック、そして⑤コートビルの管理等を含む経理・総務の業務が不可欠だ。上記④は永田ひとみが、⑤は細谷優子が「長期政権」を築いているが、①②③は流動的だった。

2) しかし、13年11月入所の後藤まどかが今や①②③のオールラウンドプレイヤーに成長。そして、今年5月に退職した足羽に代わって4月に入所した岩崎滯も③は十分オーケーのうえ、法学部出身だけに①に対して意欲的。人数が多くても要領が悪ければうまく機能しないのは世の常だが、現在の少数精鋭主義はうまくバランスがとれている。2人の若手の成長を期待したい。

●●●●● 鹿児島特攻戦跡を訪れる（2015年3月7日～9日）（写真は4、5頁）

1) 産経新聞に掲載された、サンケイトラベル企画実施の「鹿児島特攻戦跡を訪れる」を見て、「これはグッド!」とひざを打ち、直ちに申し込んだ。「戦後70年特別企画」として①海上自衛隊鹿屋基地史料館②知覧特攻平和会館③万世特攻平和祈念館、をはじめとする「12カ所の戦跡を訪れます」は最高に魅力的。さらに、同じホテルに連泊し、8:00の飛行機で出発、18:30の飛行機で帰宅する、2泊3日の旅は充実感でいっぱいだ。

2) 昨年大ヒットし、2015年2月に発表された第38回日本アカデミー賞で作品賞、監督賞、主演男優賞等11部門を受賞した映画『永遠の0』（13年）をはじめ、『ホタル』（01年）、『男たちの大和／＼YAMATO』（05年）、『俺は、君のためにこそ死ににいく』（06年）等の映画で見たあのシーン、このシーンを

思い出すことまちがいなしだ。

3) さらにタイミングよく、テレビでも向井理の主演で、三夜にわたって放映された『永遠の0』は映画以上に原作に忠実につくられていたから、鹿屋基地の姿や無線司令塔の姿、さらにゼロ戦の勇姿もより具体的にイメージすることができた。したがって、それを自分の目で確認できるのは、この上ない幸せだ。

4) そんな期待をもって臨んだ2泊3日の旅に、夕食がついてなかったのは意外だった。しかし、これが逆に、ホテルに入ってから夜の天文館街の散策や鹿児島中央駅のすぐ近くにある歴史ロード維新ふるさとの道や屋台村の散策に好都合だった。鹿児島ラーメンを食べるもよし、黒豚のしゃぶしゃぶを食べるもよし。選択肢はたくさんあったが。さて私たち夫婦が選んだ夕食は・・・?

●●●●● さっぽろ雪まつり見学（2015年2月11日）（写真は5頁）

1) さっぽろ雪まつりの見学は昔からの夢だったが、札幌での調停事件の日程に祝日が絡んだため、すぐ近くに住みながら一度も行ったことがないという苦小牧の友人夫妻と共に行くことに。

2) 2月11日は最終日だったが、「晴れ男」の登場に合わせたように、札幌は久しぶりの快晴。そのため巨大な石像が一部溶けていたのは残念だったが、徒歩での観光には絶好。滑らないように用心しながら、たっ

ぷり2時間かけて歩き回った。5頁の写真は、「無料!」のかけ声につられて壇上に登ったものだが、結局は1000円払って購入することに。

3) 仕上げは、さっぽろテレビ塔に上っての札幌市内見学。北京はPM2.5の影響で見晴らしが最悪だが、ここは最良。2013年9月の函館の五稜郭に続いて、札幌の空を制覇することに。もっとも、昼間より夜景の方がもっといいことは、5頁の写真でハッキリ・・・。

●●●●● トピックス1 章平夫婦がマンションから都島区の3階建てに転居！（2015年4月）（写真は5頁）

1) 章平夫婦が住んでいた12階建てのマンション、朝日プラザ西天満の最上階約200㎡の部屋を改装したことは、昨年夏の事務所日より第23号でお伝えした。これは今後70歳、80歳に向けてこのマンションを終の棲家にする人生設計の証しだった。ところが、今年4月に何と都島区にある3階建ての一戸建てに夫婦2人で転居したので、そのご報告を!

2) 新居は某歯科医が診療所兼自宅として使っていた敷地50坪強の、鉄筋コンクリート造りの3階建。築後40年だが、設備の更新を続けていたのでほぼそのまま使用できるレベルの美しさ。一度の視察で気に入り、二度目で即契約となったが、実はこの時点ではこの一戸建てには息子夫婦の入居を予定していた。つまり私たち夫婦は最上階でのマンション暮らしが向いており、都島物件には近い将来子供も生まれてくるであろう息子夫婦が住めばよいと考えていたわけだ。ところが、近頃の若者は何かと贅沢。あれこれリフォームの注文を言い始めると、アレレ・・・。

3) 他方、私たち夫婦の生活には今やフィットネスクラブでの運動とサウナが不可欠。とりわけ私は平成元年に難波にできたスイスホテルでのフィットネスクラブ入会以降25年間運動を続けており、それがすべての活力の源泉になっている。近時は北新地にあるANAクラウンプラザホテルと北浜にあるコナミスポーツクラブを併用していたが、都島物件と事務所の中間点に帝国ホテルがあり、そのフィットネスクラブは最高に快適!しかも、都島物件と事務所の往復は電動アシスト付自転車で15分だから、立地的にも最高!

4) てなわけで、4月から6月まで章平は飲み会のない日は、ほぼ毎日夕方7時すぎに入館し、8km走(1時間)、ストレッチ、サウナ、電動マッサージを終え10時に帰路につく生活を送っている。他方、妻は空いている時間帯で、ホントに毎日利用。したがって、自宅で風呂に入ることはほとんどない状態だ。

(新住所 〒534-0021

大阪市都島区都島本通3丁目3番21号)

●●●●● トピックス2 宏展夫婦が朝日プラザへ転居！（2015年4月）

1) 章平夫婦が朝日プラザから都島物件に転居したことに伴い、宏展夫婦がやや古いが非常に広い朝日プラザ西天満の12階に転居することに。

2) その条件は、若者の好みに合わせて床、壁、天井をリフォームし、洗面台等を入れ替えること。都島物件のリフォーム代に比べるとそれはバカ安だから、即座にOK。工事を終えてみると、断捨離ができないま

ま家具とモノに溢れていた200㎡の部屋も、今は明るくすっきりと、見事に変身!

3) 事務所での仕事量も宏展弁護士の方が多くなっている昨今、事務所まで徒歩3分の利点も生かして、宏展弁護士には事務所の責任者の立場をますます自覚してもらいたい。(新住所 〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目8番4—1201号朝日プラザ西天満)

< 1 日目 > 鹿児島空港着→霧島市上床公園（旧第二国分海軍航空基地跡）→特攻碑公園・特攻神社→ブルーウェーブイン鹿児島泊

1) 零式特攻機



2) 特攻の碑



3) 防空戦闘指揮所



5) 島津斉彬像



4) 掩体壕



6) 「我流風」でラーメン



4) 知覧特攻平和会館



5) 三角兵舎



6) 知覧特攻平和会館



①陸軍一式戦闘機「隼」



③『俺は、君のためにこそ死ににいく』のステール写真



②特攻勇姿の像

7) 平和祈念展望台



①殉難鎮魂の碑（戦艦大和殉難鎮魂の碑）

< 2 日目 > 万世特攻平和祈念館（旧陸軍万世飛行場跡）→ホテル館富屋食堂→知覧特攻平和会館（旧陸軍知覧飛行場跡）→火の神公園・平和祈念展望台（戦艦大和殉難鎮魂の碑）→『男たちの大和』ロケ地見学→花瀬望比公園（フィリピン戦没者慰霊碑）→鹿児島中央駅方面→歴史ロード「維新ふるさとの道」→ふるさと鹿児島屋台村

1) 万世特攻平和祈念館



2) 万世特攻慰霊碑



3) ホテル館富屋食堂



8) 花瀬望比公園



①戦士の像、日本軍の機関銃

9) 鹿児島中央駅付近散策



①「維新ふるさとの道」



②『男たちの大和/YAMATO』ロケ地



③殉国戦士面影の像



②鹿児島屋台村

＜3日目＞桜島海軍基地跡→小塚公園（旧海軍鹿屋航空基地、特別攻撃隊戦没者慰霊塔）→桜花の碑（神雷特別攻撃隊別盃の地）→海上自衛隊鹿屋航空基地史料館（旧海軍鹿屋航空基地跡）→地下壕電信指令室跡→串良平和公園（旧海軍串良航空基地跡）

1) 桜島海軍基地跡



5) 地下壕電信指令室跡



2) 桜花の碑



6) 串良平和公園



①出撃部隊の慰霊碑

3) 海上自衛隊鹿屋航空基地史料館



①史料館の入口



②零式艦上戦闘機五十二型丙



③二式大型飛行艇 12 型



④HSS-2A（対潜哨戒機）

4) 『永遠の0』の宣伝ポスター



さっぽろ雪まつり見学（2015年2月11日）



マンションから一戸建てに！ホームパーティーも！（2015年4月～6月）



①都島公園から、桜と3階建ての新居をバックに。



②自転車通勤の途中、帝国ホテルと美しい大川の桜をバックに。



③都島新居1階のパーティーールームで近畿交通共済の鈴木常務や担当者たちと。



④毛丹青夫妻、三連泊した孫クン母子、子連れ郭小莉、阪大の留学生たちと。

坂和宏展弁護士の近況報告

1) 近況その1・転居のご報告

坂和章平夫婦が約15年間同居してきた、事務所「激近」のマンションから都島の一戸建てへと引っ越したため、空き家となったマンションはリフォームして私と妻がその後釜に座ることとなりました。私も大学生時代は両親と同居していたマンションですが、内装を新しくし、章平が貯めこんでいた(?)大量の荷物もなくなってスッキリした部屋になったことなどもあり、とても快適に過ごしています。事務所からの距離も近く、通勤も一段と楽になりました(というより、「通勤」という概念自体がほとんどなくなりました)。また、「西天満」という地域は、昨年、私自身も由緒ある天神祭の「神鉾講」の一員として鉾流神事、陸渡御、船渡御という有名な行事に参加させていただいたご縁もあり、両親が自宅と事務所ですべてきた地元のつながりを大切にしていきたいと思っています。

2) 近況その2・転居を前に「勉強」

さて、章平夫婦の転居、私ども夫婦の転居の「結末」は以上のとおりですが、実はここに至るまでに一波乱も二波乱も(?)ありました。もともと、都島物件は章平がチラシで見つけてきた物件で、さっそく現地見学にいったところ、築年数は古いものの、丁寧に手をかけて建てられた鉄筋コンクリート造3階建ての立派な建物、日当たりも良く公園が交差点を挟んだ目の前に広がる良好な眺望、そして何より何にでも使えるような元歯科医院スペースを含んだ床面積の広さ。ひと目で気に入った章平は、価格的にもお得感があり、即決で購入を決めたものの、さてこの物件をどう使うか?今の便利なマンションを出て行くのか?というところが「波乱その1」。実はこの段階では、都島物件はリフォームして息子夫婦が住むというプランが有力でした。では、何をどのくらいリフォームするのか?が「波乱その2」。都島物件は、建ぺい率・容積率からはかなり余裕があり、「将来は取り壊してマンションを建てればかなりの大きさが可能に…」などという皮算用も働き、それぞれの生活設計が絡み、ああでもないこうでもないと親子で悩んだ挙句、「都島物件はほとんどリフォームせず、章平夫婦が住む」「マンションはリフォームして息子夫婦が住む」という結論に落ち着きましたが、

1年半事務員のご挨拶(後藤まどか)

1) 私は環境が変わるのが大好きです。新しい学校やアルバイト先、新しい家、新しい人。緊張感と新鮮さが私をワクワクさせました。親からの「バイトを1年以内にやめるなんてみっともない」という言いつけを忠実に守り(?)、どんなに嫌なことがあっても1年びったりでアルバイトをやめていました。1年半前に坂和事務所の面接を受けた時、ホームページにあった「腰掛け的意識では絶対に勤まりません」という言葉が毎日、重く重くのしかかり、「1年以上勤められるのだろうか?」と不安で仕方ありませんでした。しかし、怒られ、悩み、泣き、考えしているうちに日々はあっと

新人事務員のご挨拶(岩崎澤(みお))

1) 4月から坂和総合法律事務所で働くことになりました、岩崎澤(みお)です。学生時代は真面目さをウリに、何事も当たり障りなく過ごしてきた私にとって、この事務所に就職したことは今までの人生の中で一番

この過程で、建築工事や建築設備について実地で勉強する貴重な機会を得ることができました。キッチンやバス、床や壁等の建材の大量のカatalogを集めて比較するだけでなく、建築雑誌やわかりやすい解説本で住宅の構造から建築・設備工事といった知識を基礎から勉強することになったのです。これまでも建築工事に関係する事件で必要な部分はその都度勉強してきましたが、建築全体が体系的に見えるようになったこと、「相場観」が何となくですが掴めたこと、また専門的な資料へのアクセス方法を身につけたことなど、貴重な経験になり、今後の業務にも活用できそうです。

3) 弁護士業務の執務状況

業務全体の執務状況に大きな変化はなく、一件ずつ事件を着実に処理していくことを心がけています。予想外にトントン拍子に解決できた事件、なかなか前に進まず苦戦している事件といろいろですが、今年10月で弁護士10年目に突入という節目の年ですので、これまでの経験を活かしつつ、かつ初心を振り返りながら、引き続き頑張っていきたいと思っています。

4) 書籍と電子データと弁護士

私は業務上必ずしも必須でなくても法律書を買集めるのが「趣味」の一種ですので、休日には必ずジュンク堂等の大型書店を訪れ、数時間立ち読みをしながら新刊をチェックし、目についたものがあればすぐ買い込むという生活を修習生のころから続けてきました。しかし、最近では書籍のあり方も様変わりしており、それにとまって本の買い方、集め方も少しずつ変化してきました。まず、新刊チェックは出版社のホームページで、ということが多くなり、また希少な古本も古書店からメールで入荷リストを送ってもらえるため、書店の店頭でのワクワク感は減ってしまいましたが、便利になったことは確かです。また、判例検索ソフト(サービス)の進歩に伴い、判例だけでなく法律雑誌に掲載された論文等の記事もウェブ上で読めるようになったため、以前ほど多数の雑誌を定期購読する必要はなくなっており、経費の面からも多少整理しました。しかし、紙の書籍をスキャナーで読み取ってデータ化する「自炊」にはなかなか踏み切れず、また法律専門書で電子書籍として販売されているものはまだまだ少ないのが現状であることから、「紙の書籍」との縁は当分なくなり、自慢の「図書室」は今後も業務の上でも趣味の上でも活躍しそうです。

いう間にすぎ、気づけば1年半でした。

2) 私がどうして1年半、退屈なんてする間もなく勤めてこられたのかを考えると、その理由は第1に課題が山積みしていることです。いつまでたっても、できないことばかりが気になります。これはきっと勤め続ける限りずっとそうだと思います。第2に「常に過渡期」であることです。いつも新しいことが舞い込みます。同じ毎日の繰り返しでなく、常に新しい行動を考えなければなりません(考えていられます)。

3) タイピング速度だけが売りの私でしたが、後藤に頼んだらちゃんとやってくれると思われるように、強みを増やしていきたいと考えています。

の大冒険であり、チャレンジでもあります。

2) 働きはじめてまず、自分にできないことが想像以上にたくさんあったことに愕然としました。今はまだ、何をすることも手探り状態で、わからないこと、できないことばかりですが、先生方をはじめ、この事務所の方々は今の自分に(良くも悪くも)正当な評価を与え

てくださるので、その評価を真摯に受け止めてこれからの成長の糧にしたいと思います。

3) この先幾度となくつまづいたり、壁に突き当たることになるでしょうが、たとえ転んだとしてもタダでは起き上がらず、立ち塞がる壁は体当たり真っ向勝負

の精神で乗り越えていくつもりです。まだまだ未熟で不安も多々ありますが、同時に自分がこの環境でどこまでやれるのかを試してみたいとワクワクしています。
4) 日々精進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

映画評論家『SHOW-HEY』の部屋～戦後70年記念の戦争映画をタップリと！

かつて東宝は、『日本のいちばん長い日』（67年）、『連合艦隊司令長官・山本五十六』（68年）、『激動の昭和史・軍閥』（70年）、『激動の昭和史・沖縄決戦』（71年）等々、「8・15」シリーズと呼ばれた戦争映画大作を次々と製作したが、近時戦争映画の名作はめっきり少なくなった。しかし、今年は1945年の敗戦から70周年の年となるため、夏～秋は「あの戦争」をテーマにしたお薦めの映画がいっぱい。

①『おかあさんの木』（日本映画）

2015年6月6日、梅田ブルク7 他にて公開

監督：磯村一路 出演：鈴木京香、志田未来、三浦貴大、平岳大

②『野火』（日本映画）

2015年8月1日、シネ・リーブル梅田 他にて公開

監督：塚本晋也 出演：塚本晋也、リリー・フランキー、中村達也

①も②も、ど真ん中の直球勝負！もともと、①は次々と召集され出征していく7人の息子たちへの想いを7本の桐の木に託する母親の姿にズームイン！他方、②はレイテ島をさまよい歩く敗残兵にズームイン！塚本晋也特有の美しい映像は見モノだが、飛び散る内臓や人肉食への欲求ぶりを観るのはとにかくしんどい。①②ともあらためて原作を読み直せばさらにグッドだが・・・。

③『日本のいちばん長い日』（日本映画）

2015年8月8日、梅田ブルク7他にて公開

監督：原田真人 出演：役所広司、本木雅弘、山崎努、堤真一

①②と同様、③も半藤一利の『日本のいちばん長い日 決定版』の映画化だが、三船敏郎主演の「67年版」が名作だっただけに、それを越えることができるかどうかが焦点。役所広司演じる阿南惟幾陸軍大臣の苦悩や玉音放送断固阻止のために動く青年将校たちの焦燥感を、今年6月の公職選挙法の改正によって、国政選挙では来夏の参議院選から投票権をもつことになる240万人の18・19歳の若者たちはどう感じ、どう理解するの？

④『この国の空』（日本映画）

2015年8月8日、テアトル梅田 他にて公開

監督：荒井晴彦 出演：二階堂ふみ、長谷川博己、富田靖子

④も1983年に出版され、翌年に「谷崎潤一郎賞」を受賞した高井有一による同名小説が原作。今や、『渇き』（14年）、『味園ユニバース』（15年）のヤンキー役、『私の男』（13年）、『ほとりの朔子』（13年）などの文芸作、さらにNHK大河ドラマ『軍師官兵衛』の淀君役まで、何でもござれの二階堂ふみの主演だが、終戦間近の東京杉並を舞台に市井の人たちはどんなドラマを？

⑤『杉原千畝 スギハラ チウネ』（日本映画）

2015年12月5日全国順次公開

監督：チェリン・グラック 出演：唐沢寿明、小雪

あなたは「日本のシンドラ」と呼ばれた杉原千畝を知ってる？第二次世界大戦中に日本政府に背いてまでユダヤ難民6000人の命を救うため、ビザを発給し続けた日本人外交官は、その時何を考えていたの？「悪の陳腐さ（凡庸さ）」をテーマとして、小難しいが大ヒットした名作『ハンナ・アーレント』にみるナチス・ドイツの極悪小役人アイヒマンと対比しながら、杉原の価値を再確認したい。

⑥『母と暮せば』（日本映画）

2015年12月12日全国順次公開

監督：山田洋次 出演：吉永小百合、二宮和也、黒木華、浅野忠信

ヒロシマをテーマとした井上ひさしの戯曲『父と暮せば』を映画化した黒木和雄監督の『父と暮せば』（04年）は、涙なくして見られない名作だった。井上ひさしの「戦後命の三部作」のラストは、ナガサキをテーマとした『母と暮せば』というタイトルだけが決まっていたもの。その映画化が山田洋次監督、吉永小百合主演で実現！監督作品83作目となる本作は、山田監督が渾身の力を込めた戦後70年の勝負作品だけに、こりゃ必見！



◆ 業務時間 ◆
平日 午前9時～午後6時
土曜日 午前9時～午後3時
(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)
* 相談に来られる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。
* また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにていただければ幸いです。
* お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー用)を参照して下さい。
事務所のホームページ
http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/su_b1-3-2007chizu.pdf
から印刷して下さい。お電話をいただきましたらFAXします。

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



(96年5月)



(01年6月)



(03年9月)



(04年11月)



(05年4月)



(07年7月)



(08年4月)

<実況中継シリーズ全4冊>



(03年7月)



(12年4月)



(00年7月)



(02年9月)



(04年6月)



(06年9月)



(04年5月)

<コラム、生き方、中国語本>



(05年8月)



(13年12月)



(10年3月)



(10年12月)



(09年8月)



(12年8月)



(05年10月)

<『シネマールーム』シリーズ>



(11年12月)



(12年7月)



(12年12月)



(13年7月)



(13年12月)



(14年7月)



(14年12月)



(14年12月)



(08年10月)



(09年2月)



(09年5月)



(09年8月)



(09年12月)



(10年7月)



(10年12月)



(11年7月)



(06年11月)



(07年2月)



(07年6月)



(07年10月)



(07年10月)



(08年2月)



(08年5月)



(08年6月)



(02年6月)



(03年8月)



(04年4月)



(04年11月)



(04年12月)



(05年5月)



(05年10月)



(06年2月)



(06年7月)